



# ピースレター

No.21

発行者：公明党豊島区議団一東池袋1-18-1 豊島区役所 公明党控室 《西山連絡先》池袋1-7-11 TEL3981-5446

## 新たな10年へ、災害に負けない、人にやさしい豊島区を目指して



豊島区議会議員  
西山 陽介

ご挨拶

平成25年第一回定例会で、西山陽介は、「新たな10年へ、災害に負けない、人にやさしい豊島区を目指して」をテーマに①防災・震災対策について②子育て支援について③心の健康について④教育課題について一般質問を行いました。

今回のピースレターでは一般質問のダイジェストと区議団が取り組んだ健康施策が進んだ内容をご報告します。

ご意見、ご要望をお寄せください。

### 災害時のエレベーター対策

3.11の時にエレベーターに取り残された例を挙げながら、災害時のエレベーター対策について要望。平時からの点検を徹底をする。



### 災害弱者の避難所対策充実

避難所における妊婦さんや障がい者、難病の方、アレルギーの方々等災害弱者への対策強化を強く要望しました。

### 防災備蓄条例を提案

3.11を教訓に、帰宅困難者対策を国、東京都が表明。3日分の備蓄物資が明記された。事業所と連携を取りながら、帰宅困難者対策を要望しました。



### 通信・無線環境整備

災害時の情報伝達に重要となる無線環境の充実を要望。区内救援センターの小中学校では、WIFIが既に設置済み。ソフトバンク以外の通信整備を要望しました。



### 自殺・うつ病対策

毎年約三万人が自ら生命を断っている。セーフコミュニティ認証都市として、「心の体温計」など新しい技術も駆使しながら、身近なこころの健康対策を要望。



### 保育園待機児童対策！

平成25年度の待機児童が、昨年より大幅に増加する見込みであることから、全庁的な待機児童対策に取り組むことを要望。東京都が国に先駆けて「東京スマート保育」という小規模保育の整備を、商店街の空き店舗を積極的に活用して取り組むことを強く要望しました。

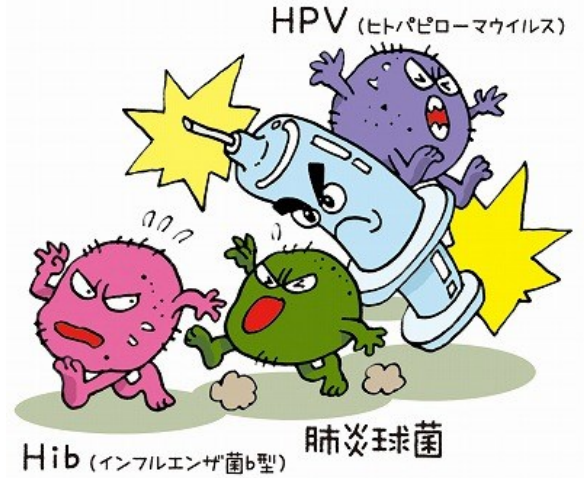
# 生命を守る、健康施策を推進

## 子宮頸がん・ヒブ・小児肺炎球菌 定期接種に

25年度予算編成に伴う厚生労働、財務、総務の閣僚折衝が行われ、4月から予防接種法に基づく定期接種対象に、子宮頸がん、インフルエンザ菌b型（Hib＝ヒブ）、小児用肺炎球菌の3ワクチンを追加することで合意しました。厚労省は通常国会に予防接種法の改正案を提出し、3ワクチンを定期接種に追加。時限的な緊急事業から恒久制度に格上げされることとなります。

### 公明党が強く要望

豊島区では公明区議団がかねてから一般質問等で取り上げ、また、公明党のネットワークを生かし、国、東京都にねばり強く要望してきました。



## 胃がん対策ピロリ菌・血液検査



胃がんは毎年約11万人が発症し、年間約5万人が死亡するがん死因の第1位です。胃がんにはピロリ菌感染が深くかかわっており、この菌を除菌する事で胃がんの発症を減らすことができます。また、20歳までのピロリ菌感染率は20%以下、50歳以上の世代では80%と高い数値を示しています。公明党区議団は、第一回定例会の一般質問で「胃がんリスク検診（ABC検診）」を再度提案しました。これは簡単な血液検査で、ピロリ菌感染の有無と胃粘膜の萎縮の程度を測定し判断する事ができ、予算を抑えた効果的な胃がん予防ができることとなります。公明党の提案に高野区長は「ABC検診は通常のバリウム検査に比べ、胃がんの発見率が高いと認識している。より効果的なABC検診の導入を含め医師会と検討を開始する」と答弁しています。公明党はこれからも、区民の生命と健康を守る取り組みを推進して参ります！

### 無料歯科検診の充実

現在の対象者、40歳、50歳、60歳に新たに65歳を拡大し、65歳以降からは5年ごとに拡大し、80歳までの検診を推進します。



### 特養ホーム約200床整備

- ①旧千川小跡地に特養100床、軽費老人ホーム20床、保育園の複合施設。
- ②旧中央図書館跡地に特養86床、ショート10床、デイサービス35名の施設整備が進行中です。定期借地権を活用して、社会福祉法人により運営されることになりました。それぞれ平成27年完成を目指します。



### 【公明党無料法律相談のご案内】

\* 毎月第1、第3木曜日、14時から。区役所4F公明党控室  
公明党控室TEL 3981-1428 FAX 3590-4628 西山E-mail; 5komei@a.toshima.ne.jp